

サーチライト With Pastor Jon 創世記 14 章
「アブラムの勝利」

1998. 01. 14

1 さて、シニアルの王アムラフェル、エラサルの王アルヨク、エラムの王ケドルラオメル、ゴイムの王ティデア
ルの時代のことである。

因みに、歴史を学ぶ皆さんに言うと、シニアルの王アムラフェルとはハムラビのことです。

高校や大学時代に学んだハムラビ法典を覚えていますか。この優れた道德律、法制度を制定した人。

2 これらの王たちは、ソドムの王ベラ、ゴモラの王ビルシャ、アダマの王シンアブ、ツェボイムの王シェムエベ
ル、ベラスなわちツォアルの王と戦った。

3 この五人の王たちは、シディムの谷、すなわち塩の海に結集した。

塩の海、死海。イスラエル南部の死海、知ってますね。

ガリラヤ湖が北にあって、そこから 60 マイルほど南に行くと死海です。

そこで戦いが起こって、1 節に出て来る 4 人の王が勝利しました。

4 彼ら（2 節の 5 人の王）は十二年間ケドルラオメルに仕えていたが、十三年目に背いたのである。

12 という数字は“統治・政治”を表す数字で、ここで初めて出て来ます。

12 は、“政治”を表す数字だということを覚えておいて下さい。

5 人の王たちはケドルラオメルに 12 年間仕え、13 年目に背いた。

13 は、聖書では“反逆・無政府状態”を表します。

ケドルラオメルは、他の 3 人の王（1 節）と一緒にその地域に下って来て、5 人の王たちと戦いを交え、これらの小さな国々を払拭しました。（2 節）

そして、5 人の王たちは 12 年間仕えた後、13 年目にケドルラオメルに反逆したのです。

反逆している。

どうなったか見てみましょう。

8 そこで、（2 節に登場した）ソドムの王、ゴモラの王、アダマの王、ツェボイムの王、ベラスなわちツォアルの
王は出て来て、シディムの谷で戦う備えをし、

この時、ケドルラオメルは、他の 3 人の王たち（1 節）と共に戦いに挑むのですが、これが爆笑もの。

10 シディムの谷には瀝青の穴が多くあり、ソドムの王とゴモラの王は逃げたとき、その穴に落ちた。

そして、残りの王たちは山の方に逃げた。

ソドムとゴモラの王が“Slime pits”（ヘドロの穴）に落ちた。

ピッタリでしょ。

彼らは墮落した王子たち、この世の肉の王たち、個人としても汚れた人間だったのですから。

これこそ、政治的正義（Political justice）じゃないですか。

ヘドロの穴に落ち込んだ。そこが彼らにふさわしい場所だから。

ということで、1 節に出て来た 4 人の王が再び勝利しました。

11 四人の王たちは、ソドムとゴモラのすべての財産とすべての食糧を奪って行った。

12 また彼らは、アブラムの甥のロトとその財産も奪って行った。ロトはソドムに住んでいた。

13 一人の逃亡者が、ヘブル人アブラムのところに来て、そのことを告げた。

14 アブラムは、自分の親類の者が捕虜になったことを聞き、彼の家で生まれて訓練された者三百十八人を引き

連れて、ダンまで追跡した。

距離は合計約 120 マイル(約 192km)。

15 夜、アブラムとそのしもべたちは分かれて彼らを攻め、彼らを打ち破り、ダマスコの北にあるホバまで追跡した。

16 そして、アブラムはすべての財産を取り戻し、親類のロトとその財産、それに女たちやほかの人々も取り戻した。

アブラムはすごいことをしました。

380 人のしもべを訓練して武装させ、それまで勝ち続けていた 4 人の王に対して、ゲリラ戦を仕掛けたのです。

夜襲して、多くの敵を打ち破ったと書かれています。

攻撃し、戦い、押して押されて、押して押されて、戦って、そして勝利した。

神がアブラムと共におられたから。

このことは、様々な理由からとても重要なのですが、中でも皆さんにお伝えしたいのは、これは聖書で最初に語られた戦争だということ。

聖書にはいくつかの原則がありますが、その一つは、最初に出て来ることの意味。

最初に書かれる内容が、しばしば、その後、同じ主題を理解するためのカギ、その主題に関する土台となります。

クリスチャンには、戦争に関する疑問がたくさんあります。

戦争は道徳的か。戦争は正義か。

14 章。私たちはここで、戦争に関して、初めての記載を目にしている。

私たちに分かっているのは、アブラムが 4 人の王に戦争を仕掛けたこと。

そして、神がアブラムと共におられ、神がアブラムを祝福され、神がアブラムを用いられたということです。

しかし、理解しておくべき事、特記すべき事が、ヤコブの手紙に書いてあります。

ヤコブ 4 章

1 あなたがたの間の戦いや争いは、どこから出て来るのでしょうか。

ここから、すなわち、あなたがたのからだの中で戦う欲望から出て来るのではありませんか。

2 あなたがたは、欲しても自分のものにならないと、人殺しをします。

ヤコブは「世界中で多くの戦争が起こっているのは、欲望が原因だ。」

ある国が、別の国の資源を欲しがる。

イラクのサダム・フセインは小国クウェートの油田が欲しくて、クウェートに対して戦争を仕掛けました。

ドイツのアドルフ・ヒトラーは領土を広げようとポーランドに攻め込み、第二次世界大戦が始まりました。

戦争は欲望から生まれる。

「おまえが持っているものが欲しい。だから、どんなことをしてでも手に入れる!」

多くの場合、領土争いが戦争の根です。

しかし! 正当な戦争もある。

それが、これからここで見ていくことです。

それは、家族を解放するための戦争。家族の解放。

ここでアブラムが仕掛けた戦争は、領土のためでなく、所有物のためでもなければ、政治的な目的でもない。

イデオロギーでも、経済的理由でもなく、企業システムのためでもない。

アブラムの目的は、「家族が困難に陥っている。捕虜になって王たちに連れて行かれてしまった。」

だから、私は家族のためにどんなことでもする！ 必要ならば、力づくでも、戦争になっても！」

私は、正当化される戦争とは、イデオロギーのためでも、経済のためでも、領土拡大のためでもなく、家族を解放するための戦争だと確信しています。

聖書は、「人々が捕えられ、家族が捕虜に取られた時、戦争は正当化される」と伝えているのだと思います。

「私はクリスチャンとして、絶対に戦争しない！」と言う人たちを良心的兵役拒否者と呼びますが、多くの誠実な人たちがこのグループに属します。

でも、第二次世界大戦の時、徴兵委員会に弁明のために出頭した人たちの多くは、そんなに誠実ではなかった。

「私はクリスチャンだ。イエスは、私たちはこの世の者ではないと言った。だから、戦うつもりはないし、戦争に加担するようなことは一切しない。」

「医療チームや軍の産業で働くことも期待しないでくれ。前線で戦うなんて、もってのほかだ！」

「イエスが『わたしの国はこの世のものではありません。』（ヨハネ 18:36）と言ったんだから！」

徴兵委員会の担当者は机を挟んで、その人を見下して言いました。「分かった。」

「しかし、聖書にはこうも書かれている。『神の国は食べたり飲んだりすることではない（ローマ 14:17）』

従って、あなたには食糧配給カードは与えられない。食糧配給はなしだ。」

ポイントは、時に人は、自分の都合によって、「戦争しない。戦わない。」と言いながら、国の恩恵は受けたい。

そこに大きな矛盾があるから、徴兵委員会の担当者は、そういう処分を下したのです。

それはともかく、アブラムは戦争を仕掛け、神が彼の奮闘を祝福したので勝利を収めました。

家族を解放しようとした彼の働きを、神が祝福されたのです。

二人の全く対照的な王が登場します。

17 アブラムが、ケドルラオメルと彼に味方する王たちを打ち破って戻って来たとき、ソドムの王はシャベの谷すなわち王の谷まで、彼を迎えに出て来た。

18 また、サレムの王メルキゼデクは、パンとぶどう酒を持って来た。彼はいと高き神の祭司であった。

19 彼はアブラムを祝福して言った。

「アブラムに祝福あれ。いと高き神、天と地を造られた方より。

20 いと高き神に誉れあれ。あなたの敵をあなたの手に渡された方に。」

メルキゼデクは“義の王”という意味です。

彼はサレムの王。サレムは“平和”

メルキゼデクは、義の王で平和の王。

ヘブル書 7 章でメルキゼデクについて書かれています。

父もなく、母もなく、…生涯の初めもなく、いのちの終わりもなく、（ヘブル 7:3）

まるで、ベツレヘムでみどりごととして生まれる前のキリストのようです。

彼はパンとぶどう酒を携えて来ました。これは聖餐に用いられるものですね。

メルキゼデク。パンとぶどう酒を携えて来たキリストのよう。

ところで、よく尋ねられるので、ここで話しておきたいことがあります。

「キリストはまだ来ていなかったのに、旧約聖書の人たち、アブラハムとかダビデ、モーセやエリシャは救われていたのですか。」

「イエスはまだ死んでいないのに、彼らはどのようにして救われたのですか。」

彼らは救われていました。

それは、彼らが、後に来られるメシアを待ち望んでいたからです。

ちょうど私たちが、メシアの誕生と死を振り返って救われたのと同じように、彼らはささげ物を通して先を見ていたのです。

信仰によって、彼らは後に、救い、贖い、和解があることを知っており、メシアを期待して献げていました。

私たちが過去を振り返って、主がして下さったことを覚えて行なっているように。

ここがポイントです。よく聞いて下さい。

BC2000 年、キリストが来られる 2000 年前に、メルキゼデクはパンとぶどう酒、聖餐を持って来ました。

ここに、生ける主がおられると言っていいでしょう。パンとぶどう酒を持って。

アブラムはイエスが来られる 2000 年前に、先取りして、これを行ったのです。

私たちは、イエスが来られた 2000 年後に、振り返って、同じことを行っています。

「主よ、私たちも言われた通り、あなたを覚えてこれを行います。」

私たちはイエスを覚えて行ない、アブラムはイエスを期待して行った。

そして、みんなイエスの周りで会います。十字架のみわざ。

ということで、旧約聖書の人々は救われているのか。「救われています。」

彼らは、信仰によって先を見ていました。

私たちが、信仰によって過去を見るように。

メルキゼデクがパンとぶどう酒を持って来て、基本的に、これは聖餐式です。

そして、アブラムは彼に十分の一献金を献げました。

20 アブラムはすべての物の十分の一を彼に与えた。

その直後、

21 ソドムの王はアブラムに言った。「人々は私に返し、財産はあなたが取って下さい。」

「人々は私に返し」とは、文字通りには「魂を返せ」ということ。

ソドムの王は、義の王、平和の王、パンとぶどう酒を持って来たサレムの王、いと高き神の大祭司とは大違い。

ソドムの王はサタンの型、墮落した人間で、「財産はあなたが取って下さい。」と言います。

「物は取っておきなさい。私は魂が欲しいんだ。」

「おもちゃや小さなアクセサリーを全部取りなさい。安物の宝石やきらびやかな物も全て取りなさい。」

「全部、あなたの物。私はただ、魂が欲しいのだ！」

アブラムは、このサタンのような王の申し出を聞き、

22 アブラムはソドムの王に言った。「私は、いと高き神、天と地を造られた方、主に誓う。」

23 糸一本、履き物のひも一本さえ、私はあなたの所有物から何一つ取らない。

それは、『アブラムを富ませたのは、この私だ』とあなたが言わないようにするためだ。

「あなたの罠に引っかからないために、あなたの鉤にかからないように、私の手柄があなたのものにならないように、あなたからは何も受け取らない。」

24 ただ、若い者たちが食べた物と、私と一緒に行動した人たちの取り分は別だ。

アネルとエシュコルとマムレには、彼らの取り分を取らせるように。」

とても興味深いことに、この箇所は、実に多くの真理を語っています。

サタンの勧誘、ソドムの誘惑に、どうすれば「NO」と言えるのか。

それは、主イエスに「YES」と言うこと。

どのようにして、主イエスに「YES」と言うのか。

このところではメルキゼデク。

主と共に聖餐を行い、十分の一献金を献げるのです。

主の食卓に着き、主があなたにして下さったこと、主があなたに何を与えて下さったかを思う。主のいのちを。

そして、主があなたに求めたことを献げる。十分の一献金を。

理由は簡単です。

そうすれば、翌日、ソドムの王が現れて、「あなたにはこれが必要でしょう。取っておきなさい。」と言った時、

「このように取引しよう。」と言った時、あなたもアブラムのように言えるのです。

「そんなもの、いらない。」「下がれ。」「おまえから受け取るものなど、何もない。」「

私を誘惑して、おまえから物を受け取ったり、何かをさせようとするが、おまえからは何も受け取らない！」

「私はまさに、サレムの王と共に聖餐に与っていて、そして、主に十分の一献金を献げているのだから。」

これがカギです。

あなたの宝のあるところ、そこにあなたの心もあるのです。(マタイ 6:21)

十分の一献金を献げたなら、それは主のもの。

あなたの宝を主に渡すなら、あなたの心も主と繋がる。

アブラムがあの日言ったように、あなたも言えます。

「ソドムの王よ、それはいらない。私はメルキゼデクに十分の一を献げた。

だから、あなたからは履き物のひも1本さえ、受け取らない。」

そうして、この日、アブラムは勝利を収めました。あなたも私も。

良い教訓ですね。

エペソ 5 章

15 ですから、自分がどのように歩んでいるか、あなたがたは細かく注意を払いなさい。

知恵のない者としてではなく、知恵のある者として、

16 機会を十分に活かしなさい。悪い時代だからです。

17 ですから、愚かにならないで、主のみこころが何であるかを悟りなさい。

「今日、もし御声を聞くなら、あなたがたの心を頑なにしてはならない。」ヘブル 4:7

メッセージ by ジョン・コーソン牧師 アップルゲート クリスチャン フェローシップ

<http://joncourson.com/>

7590 Highway 238 Jacksonville, OR 97530

訳 by 木下言波

DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by Rumi

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、目の治療をされました。

どうか、りよくさんの病後の弱さを覚えて、お祈りください。